

安芸市福祉事務所
 所長 山崎美佳 様

安芸市立川北保育所
 所長 竹内由美



令和3年度川北保育所園評価最終報告書

1 保育所における自己評価の記録

月	自己評価
4月	○ 園経営計画（3年程度）の作成 ○ 本年度の重点目標の設定（評価計画） ○ 園評価項目・指標の設定
8月	○ 職員への園経営計画・園評価計画の説明と共通理解 ○ 保護者への園経営計画・園評価計画の説明
9月	○ 中間評価の実地（職員の自己評価、園の自己評価）
11月	○ 設置者への中間評価の報告、改善策の検討
1月	○ 保護者に向けてアンケート調査実施 ○ アンケートの集計・分析
2月	○ 保護者に対してアンケート集計・分析結果報告 ○ 最終評価の実地（職員の自己評価、園の自己評価） ○ 最終評価の実地（保護者・設置者への報告、改善策の検討）

2 最終評価結果

総括的な自己評価結果について

<成果>

① 保育・教育活動の充実

混合クラスではあるが、各年齢の発達にあった教材や活動を意識し、異年齢で交流しながら楽しめる遊びを工夫する。遊びの中に体を動かすことを意図的に取り入れ、保育者も子どもの遊びに加わり一緒になって遊ぶことで子どもたちの遊びの継続や発展がみられた。

② 職員の育成・資質向上や運営

職員一人ひとりが施設の安全管理の為の環境整備に意識して取り組み、不都合な点があれば早急に改善し対応してきた。全職員が常に子どもの健康状態を把握し、保護者と情報共有すると共に疾病予防に取り組んだ。感染症にかかった園児はいたが、保護者に注意喚起をするとともに消毒等の徹底をはかった為、流行することが防げた。

③ 地域に開かれた園づくり

今年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から行事による交流は中止としたが、感染状況を確認しながら、地域との食育交流や高齢者、小学校との交流は何度か行うことができた。保護者と子どもを中心とした話をする中で信頼関係もでき、子育てに関する相談にアドバイスをを行い保護者とともに子どもの成長を確認することができた。

<課題及び主な改善策>

- ◎ 保護者に対するアンケートに寄せられた意見に対して職員で再確認をし、今後の保育所運営に向けて全職員で意思統一をして取り組む。
- ◎ 課題として園庭に草の生える時期には保護者やボランティア、地域の方の力を借りながら子どもたちが快適な保育所生活が送れるように努める。

経営の柱	今年度の重点目標	評価項目	評価指標と評価結果				分析・考察
			取組指標	結果	成果指標	結果	
☆保育・教育活動の充実	乳幼児の発達に即した生活や遊びの充実	【環境の構成・教材開発】 生活や遊びに対する環境構成や教材を工夫する	4 遊びの中でモノとの関わりを深めるような教材を研究し保育に取り入れる取り組みをしている	2.9	4 自ら考え工夫して遊ぶ子ども 75%以上	2.9	子どもの発達を促し異年齢で交流をしながらも楽しめる教材を工夫、準備する。保育者も一緒に遊ぶことで遊びが発展していき、次の教材や環境構成を考えることができた。
		3 子どもの発達を促すような教材を研究し準備している	3 65%以上				
2 子どもの発達にあった教材を自分なりに工夫して準備している	2 50%以上						
1 子どもの発達を理解し、一人一人に合った教材を準備している	1 50%未満						
		【指導内容・方法】 体を十分に使って運動遊びをする	4 保育者も一緒に遊び楽しさを共有したり、皆の中で認め合ったりする	3.1	4 室内外で体を使った遊びを自らしようとする子ども 90%以上	3.1	遊びの中に意図的に体を動かす、使う、活動を取り入れて保育者も一緒に楽しむ事ができた。子どもたちはできた事が自信につながったり、友だちへと気持ちが広がり遊びを楽しむ姿が見られた。
3 楽しい、やりたいと思う遊びや動きを工夫する	3 75%以上						
2 体を使った遊びを年齢や季節を考慮しながら計画的に取り組む	2 50%以上						
1 体を使った遊びを取り入れる	1 50%未満						
◆職員の育成・資質向上や運営	共通課題に積極的に取り組む職員の体制作り	【保育の環境整備】 施設・整備の安全・維持管理の為に点検に取り組む	4 定期的に安全・維持管理の点検に取り組む 月一回以上	2.9	4 保育所の環境整備に意欲的に取り組む 90%以上	3.2	定期的に園舎内外の安全点検を行い、不具合があれば職員間で情報共有し早急に対応することができた。
		3 月一回程度	3 75%以上				
2 二ヶ月に一回程度	2 50%以上						
1 四ヶ月に一回程度	1 50%未満						
		【保健管理】 日常の健康管理や疾病予防の為に取り組む	4 疾病予防に取り組み早期発見し感染拡大防止に気を付ける	3.3	4 子どもの健康観察をすると共に保護者との会話の中で健康状態を把握し予防する	3.3	子どもの健康に関する情報を保護者・保育者と共有することができた。又、保護者に園での疾病情報を提供する事で注意喚起することもできた。室内ではオモチャ、机、椅子の消毒等を行った。
3 疾病予防に取り組み感染拡大防止に気を付ける	3 子どもの健康観察をすると共に保護者との会話の中で健康状態を把握し予防する 70%以上						
2 健康観察をし疾病予防に取り組む	2 子どもの健康観察をすると共に保護者との会話の中で健康状態を把握し予防する 40%以上						
1 健康観察をする	1 登所時に子どもの健康状態を観察する						
◎地域に開かれた園づくり	保護者や地域から信頼される保育所作り	【保護者に信頼される保育所】 保護者に対して子育てを支援する	4 保護者との関係作りができ子育てが楽しくなるようなアドバイスができる	2.7	4 保護者が子育ての中で感じる喜びや不安、悩みをよく話してくれる 70%以上	2.7	お便りの中に子育てに関する情報を入れたり降所時の会話から子育ての楽しみや悩みを聞きアドバイスをすることで子どもの成長を共に喜び合う事ができた。
		3 保護者が無意識にしている事の中に子どもへのよい関わりがあることを知らせる	3 65%以上				
2 一人一人の子どもやクラスの様子を把握し保護者に知らせる	2 50%以上						
1 保護者に進んで挨拶したり話しかけ話やすい雰囲気づくりに努める	1 50%未満						
		【地域住民との連携】 地域との交流活動	4 地域住民との交流 月一回程度	2.3	4 自ら積極的に挨拶したり、話しかけたりする子ども 70%以上	2.4	コロナ渦で今年も行事での交流を十分に行うことができなかったが感染が落ち着いた時期には地域の高齢者の方と交流することができた。園外に出かけた時は保育者と一緒に挨拶をしたり、話しかける子どもが増えてきた。
3 二ヶ月に一回程度	3 65%以上						
2 四ヶ月に一回程度	2 50%以上						
1 年に二回程度	1 50%未満						